

市民放射能測定センター

(通称Cーラボ)

開所式のご案内

福島原発の破滅的な事故によって、私たちは、長い放射能汚染時代を生き抜く覚悟が必要になりました。被曝を出来るだけ避けるためには、食品の放射能含有量や土壤汚染実態などの正しい情報が十分に公開されることが前提となります。しかし、政府や自治体の測定体制は全く不十分です。

やむなく私たちはガンマ線スペクトルから核種ごとの分析ができる最低限の測定装置を購入し、市民測定センターを開設することにしました。食品、土壤、母乳などを専門家のアドバイスを受けながら市民自身が測定します。政府の乱暴な暫定基準に対抗して、自主基準を提案します。困窮する生産者を支援するために、作物、土壤調査なども行います。現行の食品放射能監視体制の不備を指摘するために、抜き打ちで市場調査を行い、政府や自治体の全食品測定体制整備を求めていきます。過酷な汚染に苦しむ福島県及び周辺自治体に住む人々を支援するための依頼測定や現地調査も視野に入れていきます。

日程：2011年9月25日 (日曜)

時間：開場 13時半 開始 14時
終了予定時間 16時半

場所：市民放射能測定センター (Cーラボ)

(名古屋市西区(株)名古屋生活クラブ内)

資料代：500円

Cーラボ概要

主たる測定装置：

食品放射能測定システム

(日立アロカメディカル社)

検出器=Nal(Tl)シンチレーション

検出器

食品、飲料、土壤の測定可

測定可能核種：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137

検出限界=各 30Bq/kg (10分測定

※測定時間延長により、各核種

5Bq/kg 程度まで測定可)

測定費用：検出限界(各核種)

5Bq/kg4000円 10Bq/kg2000

円

専門家：大沼章子氏(元愛知県衛生

研究所環境物理科長)

河田昌東氏(元名古屋大学理学部教

員)

プログラム

1. 市民放射能測定センターが購入した測定装置の概要と、食品中放射能自主基準の提案
講演：大沼淳一氏 (Cーラボ運営委員)
2. 測定機見学
実際に使用する測定機のご案内をします
3. 茶話会
出席者の皆さんと原発事故のこと、放射能汚染のことなど
思いを語り合いましょう

※測定機の購入にあたっては、高木仁三郎市民科学基金から100万円の助成を受けました

連絡先：名古屋市西区比良 2-120 (株)名古屋生活クラブ気付 (担当：石田)

アクセス：名鉄犬山線・鶴舞線上小田井駅徒歩30分、東海交通事業城北線比良駅徒歩5分

名古屋市営バス栄11系統・月繩手バス停徒歩3分 名駅12系統・月繩手又は比良口バス停徒歩3分

※当日は駐車スペースは僅かですので、公共交通機関でお越し下さい。

TEL：052-501-0251 (平日9:00~18:00) mail：tnet_sokutei@ray.ocn.ne.jp

HP：http://tokainet.wordpress.com/hsc